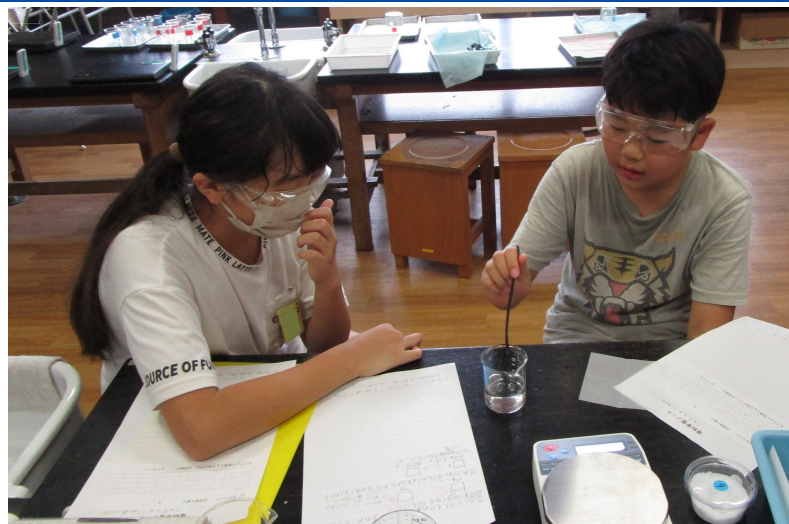


めあてに向かって主体的に学び、 考える児童の育成 ～キャリア教育を通して～



練馬区教育委員会
教育長 堀 和夫

練馬区立大泉北小学校
校長 松井 貴子

大泉北小学校では、令和4・5年度に「めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成～キャリア教育を通して～」を主題とし、児童に身に付けさせたい力を「自分のよいところを見つける力」「次のことを考える力」「みんなと学び聴く・伝える力」の3項目に焦点をあて、キャリア教育で育てたい基礎的・汎用的能力の育成に取り組んできました。

社会情勢が劇的に変化し、先行き不透明で予測困難な時代においては、児童一人一人が自分の長所や可能性を認識し、多様な人々と協働していく力が求められます。本校が焦点とした3つの力は、社会的・職業的自立に向けて不可欠な力であり、バランスよく高めることにより、急激に変化する時代をたくましく生き抜く資質・能力となり得るものと考えます。

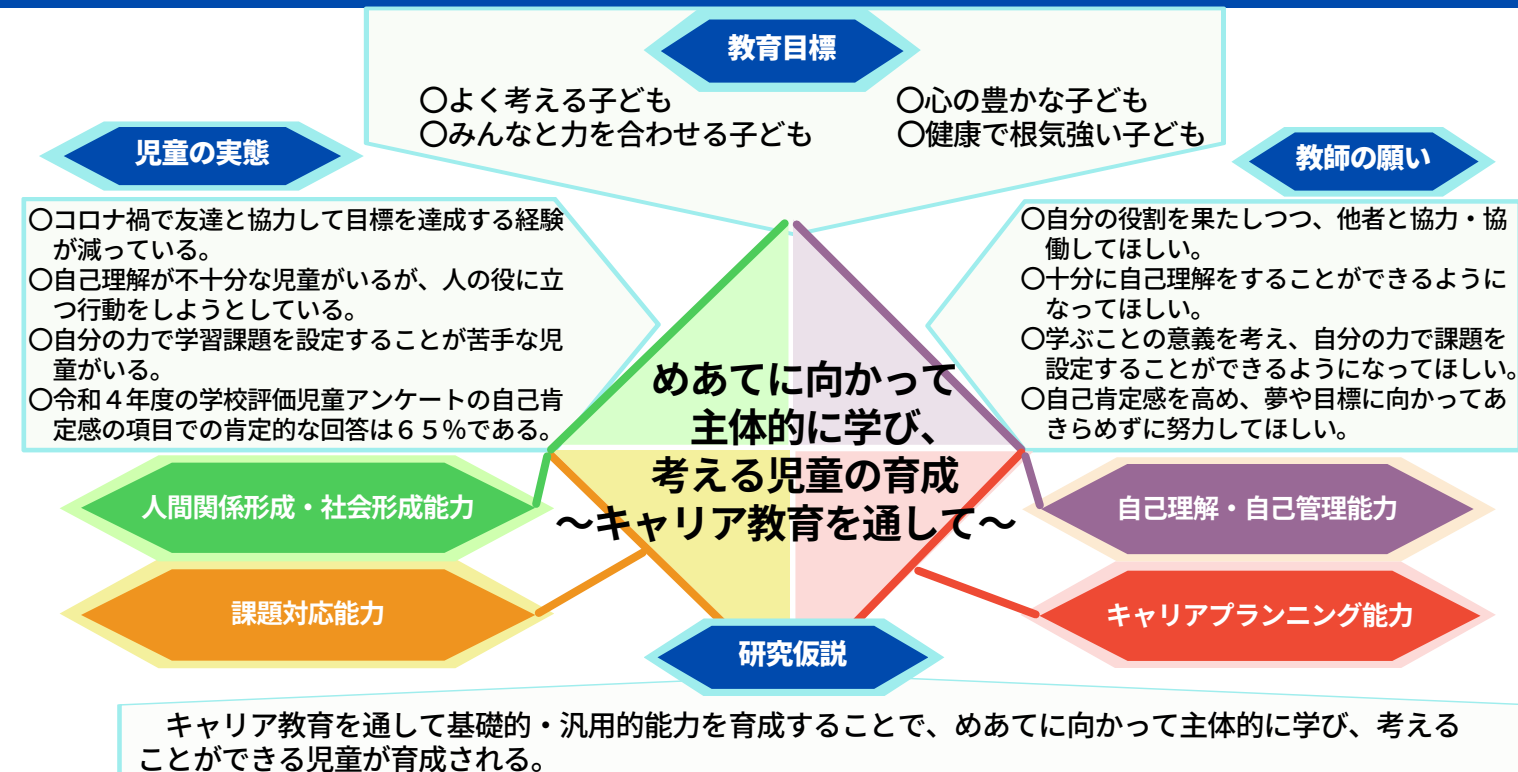
本校では、各授業においてキャリア教育のねらいを掲示物等で示すことやキャリア・パスポートを充実させることを通じて、日常的に児童が3つの力を意識できるようになったと考えます。今後、本校の取組の成果が共有され、各校のキャリア教育の充実とともに主体的に学ぶ児童の育成が一層図られることを期待しています。

結びにあたり、本校の研究に格別の指導をいただきました東京女子体育大学教授 豊岡弘敏先生および文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所キャリア教育総括調査官 佐藤学先生に心より感謝申し上げます。本研究に精力的に取り組んでこられました松井貴子校長をはじめとする教職員の皆様に敬意を表し、あいさついたします。

本校の教育目標は「夢や目標をもち、めあてに向かって主体的に学び、考え、課題対応・解決的に行動する、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもった児童」の育成です。この実現に向け、教育課題「キャリア教育」に取り組むことで視点の転換および拡大をし、授業改善や教育活動の価値付けを図りました。児童が学ぶことが楽しいと感じ、それが一人一人の夢や目標と往還することでスパイラル式に学び続け、キャリアを積み、よりよい社会の形成者になっていくことは、教師、保護者、地域、全ての人の願いでもあります。

さて、キャリア教育の4つの視点「自己理解・自己管理能力」「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を基に、本校では児童に身に付けさせたい力を3つに焦点化し、そのキャリア教育目標を児童と日常的に共有しました。また教科の内容に即したキャリア教育を行うことにより、学習の広がりや自己の生き方に関する児童の考えが深まるのではないかと、研究を進めてまいりました。結果、児童が今の自分のよさや人の役に立つ喜びを実感し、なりたい自分への夢をもち挑戦意欲を向上させている手応えを感じています。

令和5年度、研究を積み重ねていくにあたり、東京女子体育大学教授 豊岡弘敏先生、文部科学省教科調査官・国立教育政策研究所キャリア教育総括調査官 佐藤学先生に懇切丁寧なご指導を賜りました。そして、2年間に渡り練馬区教育委員会により研究の機会をいただきました。心より感謝申し上げます。



	自分のよいところを見つけることができる児童 (自己理解・自己管理能力)	次のことを考えることができる児童 (課題対応能力 キャリアプランニング能力)	考えや気持ちを聴いたり、伝えたりすることができる児童 (人間関係形成・社会形成能力)
低学年	勇気をもってチャレンジしよう	今できることを一生懸命に取り組もう	話を聞いて進んで伝えよう
中学年	ポジティブに取り組み、自分のよいところを見つけよう	めあてに向かって最後までやり通そう	関心をもって聞き、伝えよう
高学年	自分のよいところを知って活動に生かそう	めあてに向かって計画を立て、見通しをもって実行しよう	互いの意見を理解し、考えを広げよう

研究主題に迫るための手だて

授業での取組	日常の取組	振り返り	年間指導計画の作成
<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の中での基礎的・汎用的能力の育成 ゲストティーチャーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 行事や特別活動等も通じた全教育活動を通しての実践 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア・パスポートの充実 振り返りカードの作成、充実 児童の意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・汎用的能力を位置付けた年間指導計画の作成

授業での取組



自分のよいところを見つける力

授業実践 3年 道徳科

主題名 「それぞれのよいところ」
内容項目：A（4）個性の伸長

教材名 「三年元気組」

ねらい： クラスの仲間の言葉から、自分の長所を見つける「僕」の姿を通して、自分の長所を見つけ伸ばすためには、どのような気持ちが必要なのかを考えさせる。自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。

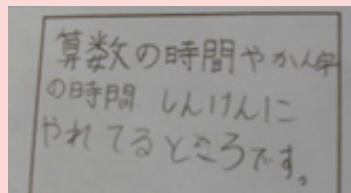


キャリア教育のねらい： 自分のよいところを見つける。

お互いの長所を見つける活動 児童のワークシートから

- 絵が上手で、ぼくはそんな上手に絵がかけないから、すごいと思います。
- 友達にやさしいところがいいと思います。
- 面白くて、給食を残さずに食べるところがいいところだと思います。

お互いのよいところをワークシートに書き合いました。



自分のよいところについて 児童の振り返りから

- サッカーをがんばっているところ。たくさんさんの技に挑戦して、できないことをできるようにになりたい。
- 走るのが速いこと。もっともっと速くなりたい。
- いろいろなことをがんばっていること。（ピアノや勉強）どれも手をぬかず、がんばりたい。

授業実践 2年
生活科

「作ってためして」

自分のおもちゃの改善点が見つかるようにするために、友達のおもちゃと比べる活動を設定することで、「自分のよいところを見つける力」の育成につながりました。



授業実践 4年
道徳科

「思いやりのかたち」

視覚障害者の女性に手を貸す「わたし」や、点字ブロックを考案した三宅さんの姿から、自分なりの「思いやりのかたち」を考える活動を通して、「自分のよいところを見つける力」の育成につながりました。



授業実践 5年
総合的な学習の時間

「大北ワールドカップ」

ゲストティーチャーとの関わりの中で、友達のプレーを認め、よりよい方向に向かうためのアドバイスの仕方を学びました。チームの長所を知り、前向きに考えることで、「自分のよいところを見つける力」の育成につながりました。



授業での取組



次のことを考える力

授業実践 5年 理科

単元名 「もののとけ方」

ねらい： 物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けると共に、主に予想や仮説を基に解決の方法を考える力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。



キャリア教育のねらい： 物の溶け方について、予想や仮説を基に解決の方法を考え、問題解決する。

導入実験での児童の気づきを 基に作成した学習計画

- 「もやもや」は、なぜ下の方へ落ちていくのか。
→重さがあるから下に落ちていく。
- おかわりをしてもらおうと思う。
- パックに入れなくて、ぐるぐる一回回したらどうなるのかと思った。

<学習計画>

- ①水にとけたものの重さはどうなるのだろうか。
- ②ものが水にとける量には、限度があるのだろうか。
- ③ものが水にとける量を増やすには、どうすればいいのだろうか。

児童の学習感想

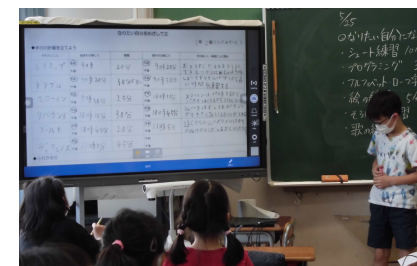
- 水にとけたものの重さが残ったから、食塩が目に見えないほど小さくなり、水と水の間に入り込んだと思います。
- 予想通り食塩の重さは水溶液に残った。
- 食塩を水にとかすと水溶液の重さは食塩と水になったことは分かったけど、砂糖でやったらどうなるのか気になった。

①水にとけたものの重さは水の重さ+塩の重さになった
②水にとけたものの重さは水溶液にのこる
水の重さと塩の重さは別のものだった。
③この実験をやりてみて結果が分かったから自分のさ
がとけたようなかんじがしてスリしたような気がした。

授業実践 3年
算数科

「時刻と時間」

なりたい自分になるために、休日のように時間を使いたいかを考えて、計算をして求める活動を設定しました。友達と考えを共有して、改善案を考える中で、「次のことを考える力」の育成につながりました。



授業実践 6年
道徳科

「『働く』って、どういうこと？」

働く人のエピソードやアンケート調査結果から、人は何のために働くのかを考える活動を通して、「次のことを考える力」の育成につながりました。



授業実践 6年
理科

「私たちの生活と電気」

電気を効率よく利用することを目的に、ドローンの動きをプログラミングする活動を通して、「次のことを考える力」の育成につながりました。





みんなで学び 聴く・伝える力

授業実践 2年 国語科

単元名「しつもんをしあって、くわしく考えよう」

教材名「あったらいいな、こんなもの～しつもん名人になろう～」

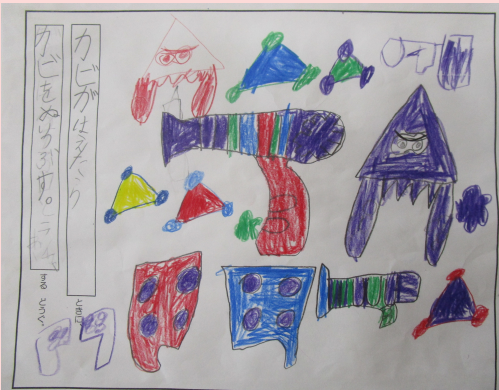
ねらい：自分が考えたものについて順序を考えながら発表し、みんなに知らせたり、大事なことをもらさずに聞き、分からないことを質問したりすることで聴く・伝える力を育成する。

キャリア教育のねらい：あったらいいなと思うものについて楽しく空想し、友達との質疑応答で考えが深まることを知る。



ねらいの振り返り

- ・友達が、話す人の方を見て静かに聞いてくれたから、うれしかった。楽しく発表ができた。
- ・ちょうどよい声の大きさを話そうと調整できた。
- ・姿勢を正しく、丁寧な言葉で発表することができた。



キャリア教育のねらいの振り返り

- ・友達がたくさん質問をしてくれたから、「聞いてくれたんだな。」と思った。
- ・質問をしてもらって、最初より詳しく道具を考えることができた。
- ・友達にアドバイスをもらったから、もっと面白い道具を考えられた。

授業実践 1年 特別活動

「『学びゅうの目ひょう』 たっせい大きくせん」

「学級の目標」の達成に向けての現状を知るためのアンケートに基づいて話し合いをすることで、「みんなで学び聴く・伝える力」の育成につながりました。



授業実践 3年 図画工作科

「みらいにタイムスリップ!」

自分の将来の夢が、どんなポーズだと自分の思いに合うように絵に表せるか考え、友達にどうしたら伝わるか考えながら伝える場面を設定することで、「みんなで学び聴く・伝える力」の育成につながりました。



授業実践 3年 社会科

「まちの人々の仕事」

Web上の地図検索機能を使って近くにあるお店について共有し、意見を視覚的に捉えさせることで、「みんなで学び聴く・伝える力」の育成につながりました。



健康づくり



健康づくりに関わる学校保健部・生活指導部・食育部・体育的行事部で連携し、キャリア教育を意識して取り組みました。

長期休み明けに「めざせ!スッキリ生活～元気アップチャレンジ週間～」に取り組みました。睡眠、食事、運動、排便などの生活習慣を振り返ることで、「自分のよいところを見つける力」の育成につながりました。

日付	目標	達成状況
9/2(土)	朝の挨拶をしよう	◎
9/3(日)	姿勢を正しくして食べよう	◎
9/4(月)	よくかんで食べよう	◎
9/5(火)	上手に後片付けをしよう	◎
9/6(水)	決められた時間内に食べよう	◎
9/7(木)	感謝の気持ちで食事をしよう	◎
9/8(金)	ていねいに手洗いをしよう	◎
9/9(土)	日本の食文化について考えよう	◎
9/10(日)	協力して食事の環境を整えよう	◎

月	目標	達成状況
4	給食のきまりを覚えよう	◎
5	姿勢を正しくして食べよう	◎
6	よくかんで食べよう	◎
7	上手に後片付けをしよう	◎
9	好き嫌いをせず食べよう	◎
10	決められた時間内に食べよう	◎
11	感謝の気持ちで食事をしよう	◎
12	ていねいに手洗いをしよう	◎
1	日本の食文化について考えよう	◎
2	協力して食事の環境を整えよう	◎

算数得点アップウィーク

学力の定着を図るため、「算数得点アップウィーク」に学期に一度取り組んでいます。児童自身が目標を立て、学習計画に沿って学習をし、学習過程の振り返りを行うことで「次のことを考える力」の育成につながりました。

日付	すること	7/10(例)	ドリルパーク
7/5	整数の小学生算	7/11	小数のわり算
7/6	整数と小数の主な数法	7/12	い たし算
7/8	小数のかけ算	7/13	い っし算
		7/14	割合

*上の①～⑥全部が○になったら、パワーアップドリルに取り組みましょう。

ふりかえり 割合の計算問題とくりかえして何回も解いたので、次のテストでは前回より良い点が出るとおもいます。

あいさつ週間

代表委員会が中心になって取り組んだ「あいさつ週間」では、代表委員のあいさつを受け、気持ちのよいあいさつができる児童が増えました。あいさつを通して「自分のよいところを見つける力」や、「聴く・伝える力」の育成につながりました。



振り返り

キャリア・パスポート

普段の学習で作った作品や、学期の初めに自分で立てた目標などをカードケースに入れ、自分の成長を振り返ることができるようにし、次の活動に生かせるようにしました。作成を通して「次のことを考える力」の育成につながりました。「なりたい自分」の設定

全部の教科書に楽しく取り組み元気な学生

苦手を英語にも楽しく取り組める。家で苦手を英語を練習する。

早く早起き朝ごはんを7時に食べて7時に起き朝ごはんをしっかりと食べる。

水泳でもっと速く泳げるようになりたい! 水泳の時にたくさん泳いで練習する。

振り返り

苦手を英語は練習して楽しく取り組めるようになった。

早く早起き朝ごはんを毎日元気にたべせるようになった。

水泳で練習して泳ぐのが上手になった。

実生活

がんばりカード

授業ごとにキャリア教育に基づいためあてからの振り返りを行っています。各学年のキャリア教育のめあてを書いたカードにがんばったことを書きため、年度末に自分の成長を実感することができるように取り組んでいます。

活動名

7月14日(金) 岩井 移動教室

責任	計画的な行動	団 結
保健係でみんなの	行動班行動のときに	部屋に集まってみんなが
体温カードを時間	班のみんなで計画を	スタンプのねんしゅうが
かからずあつめること	立てて行動できた。	できた。
できた。		

大北小で児童に身に付けさせたい3つの力

成果と課題

大北小では、令和4年度に授業づくりに向けた研修を行い、児童に身に付けさせたい力を3つに焦点化しました。この3つの力を身に付けることで、キャリア教育で育てたい能力である「基礎的・汎用的能力」の育成を目指します。

●自己理解・自己管理能力

自分のよいところを見つける力

次のことを考える力

みんなで学び 聴く・伝える力

●課題対応能力
●キャリアプランニング能力

●人間関係形成・社会形成能力

学年目標 「目指す児童像」に基づき、児童に分かりやすい言葉でキャリア教育の学年目標を設定しました。

	自分のよいところを見つける力	次のことを考える力	みんなで学び 聴く・伝える力
1年	やってみよう	あきらめない	みんなできいしょに
2年	チャレンジしよう	いまできることをさいごまでつづけよう	いろいろな人の話をきこう
3年	よいところを見つけよう	めあてをいしきしよう	伝え合おう
4年	すすんでよいところを見つけよう	めあてをいしきしよう	すすんで伝え合おう
5年	自分の考えをもつ	計画・実行する	広げる
6年	自分の考えをもつ	計画・実行する	共感する

キャリア・パスポート

研究授業指導案

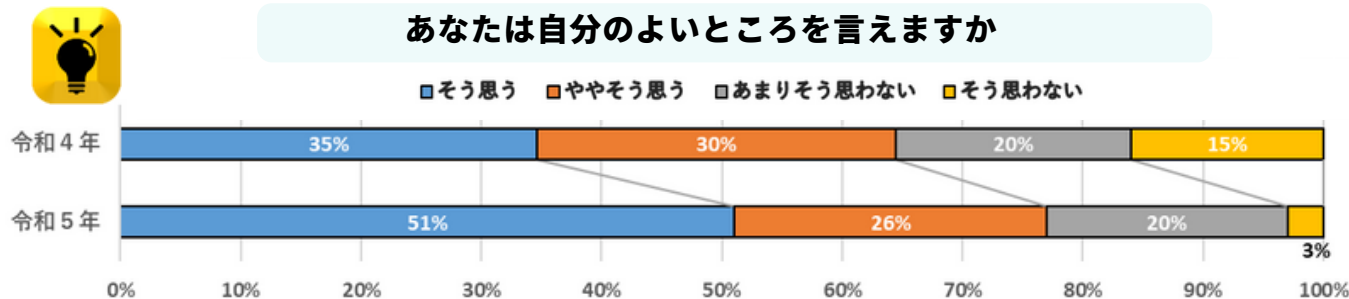
実践事例集



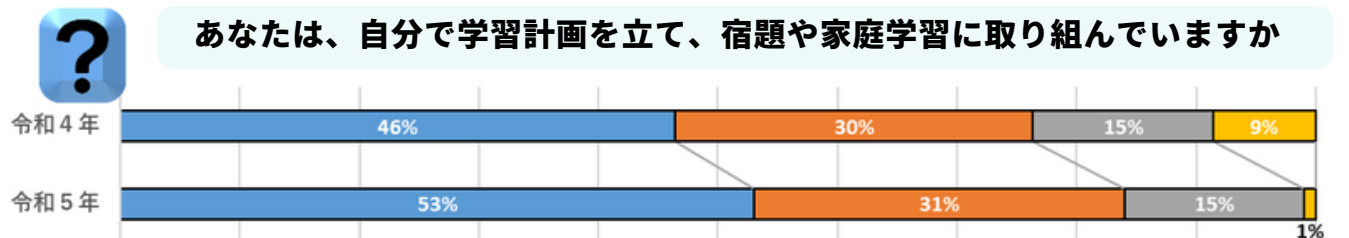
成果

児童の意識の変容

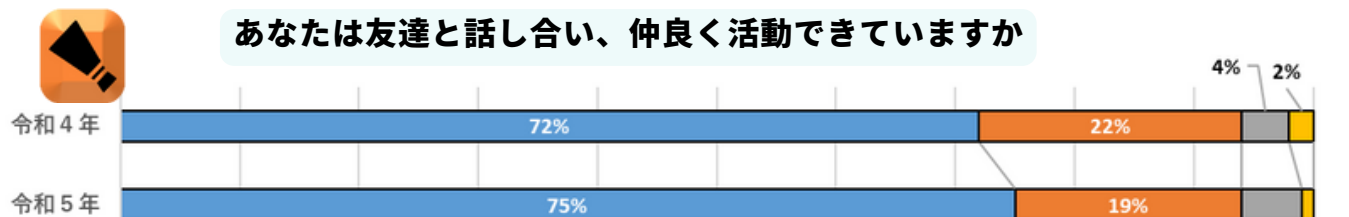
～令和4・5年7月 児童学校評価アンケートの結果より～



・自分のよいところや役割を意識をさせることで、自己理解が深まり、自己肯定感や自己有用感をもてる児童が増えた。



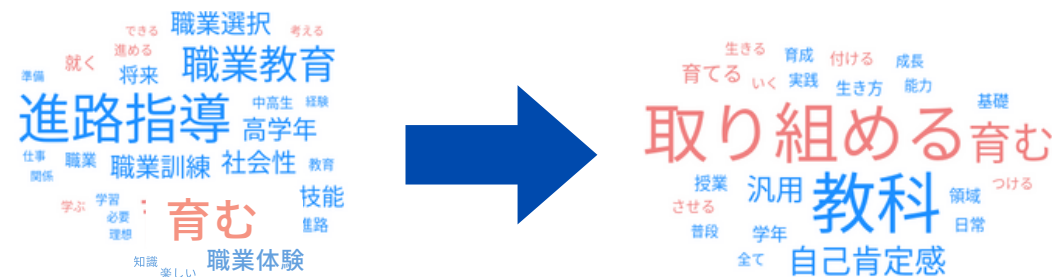
・キャリア教育の視点を指導者が意識し、丁寧に学習計画づくりや振り返りを行うことで、児童が次のことを考える習慣が身に付いてきている。



・全教育活動を通してコミュニケーションを大切にすることで「みんなで学び 聴く・伝える力」が伸び、人と関わることを楽しめる児童が増えた。

教員の意識の変容

研究の開始前後の「キャリア教育」に対する教員の捉え方の変容を調査した。研究前は、「職業教育」、「進路指導」というイメージを強くもっていたが、現在では、「職業に関する教育だけではなく、どの教科でも取り組むことができる。」といったキャリア教育に対する見方に幅が広がり、柔軟な考え方に変わってきている。また、児童の自己肯定感や自己有用感を高めるような指導、3つの力を身に付けさせる指導を意識するようになった。



課題

各教科の授業の流れに、自己肯定感や先を見通す力の育成というキャリア教育の視点を盛り込むためには工夫が必要だった。今後もさらに検討し、授業の中での基礎的・汎用的能力の育成により有効な方法を模索し、社会的・職業的自立に向けて必要な能力を育てる。